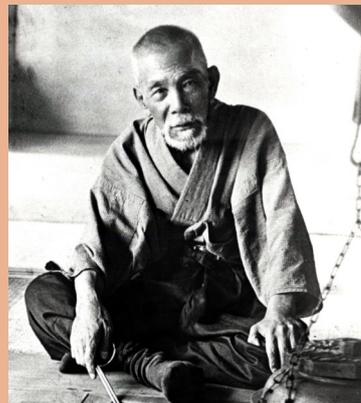


岡崎嘉平太記念館



Vol. 26

だより



犬養 毅(木堂)翁

安政2～昭和7年(1855～1932)。政治家。号は木堂。岡山県出身。明治23年第一回衆議院議員選挙で当選(18期連続当選)。昭和6年12月第29代内閣総理大臣、翌年五・一五事件で海軍青年将校等の凶弾に倒れた。

木堂先生

昭和四年(一九一九年)十二月、私は日本銀行からベルリン駐在を命ぜられた。昭和四年といえば、第一次世界大戦後の本格的な不況が襲ってきて、日本は政、財界とも不安に包まれていた年である。昭和二年(一九二七年)の暮には未曾有の銀行取付けが起つて全国に広がった。その騒ぎが漸く收拾された頃には、軍部の対満政策の硬化が宣伝されるようになった。政、財界の中には、不況脱出に軍の力を利用しようという気配が漂いはじめ、日本国中何となく物情騒然として、落ち着いた様子を見られず、露呈してきていた。

私は日銀で、銀行取付けに対する特別融資の仕事に関係していたので、こんな情勢は人一倍に肌で感じていたと思う。

そんな時に私は、学生の終わり頃から、知遇をいただいていた犬養木堂先生を、四谷信濃町のお宅にお訪ねして、赴任の挨拶をした。その時の犬養先生の一挙一動は、今でもありありと眼前に彷彿することができる。十畳ほどの日本間に通されて待つことしばし、やがて片手にタバコ盆をさげて、前かがみの姿勢で静かに

入つて来られて、私の前にチヨコンと座られた。まるで田舎の親爺さんに会うような気楽な雰囲気を感じさせるのである。

私は当時の世相は戦争になりそうな気がしていたし、中国と戦争になったら、日本民族百年の不幸であることは予てから考えていたことであり、この危い時局には、老練かつ無欲の大政治家、すなわち犬養先生のような方の出馬が、必ず要請されてくるのだろう思っていたので、「私はドイツに三年ばかり滞在することになりますが、その間に先生はきつと総理になられると思います。そうしたら、どうか気の利いた政治をして下さい」と、全く盲蛇におじずの生意気なことを言ってしまった。ところが先生は、私をたしなめられもせず低い声で「うん、気の利いた政治か、うん」と、独りうなづくように、つぶやかれたのである。辞去するとき、先生は玄関の欄干に肘をかけて、私がお宅の角をまがるまで見送つて下さった。そのお姿も、私の眼底に焼きついている。

― 出典 岡崎嘉平太著『私の記録』(一九七九(昭和五四)年発行)

さらに嘉平太氏は、著書「二十一世紀へのメッセージ」の中で、「犬養さんのしゃべり方は、大変迫力があり、聞いてみると空気の圧力が感じられるほどであった。そこで、聞くほうも真剣にならざるを得なくなり、目もそれなような雰囲気になるのであった。私は「これが説得力というものだな」と感じ入った」と記しています。嘉平太氏は、一高時代に弁論部に入っており、木堂氏からも弁論の指導を受けていました。その後も故郷の大先輩への尊敬を惜まず、度々お話を伺いに訪ねる間柄でした。

岡崎嘉平太がめざした世界平和への道を考える 第15回講演会の開催



上方の2枚の写真は、作品散歩の様子で、左は県庁前、右は岡山後楽園にある有本芳水記念碑そば。下方の写真、左は講演会会場の様子。右は橋本 功先生。

6月28日(火)、岡山県立図書館で、「岡崎嘉平太がめざした世界平和への道を考える第15回講演会—岡崎嘉平太と前川國男—」を開催しました。

午前中は、橋本 功 前川建築設計事務所代表に解説いただき、岡山県庁や林原美術館などカルチャーゾーンに遺る前川作品を見て歩きました。

午後からの講演会では、当記念館の初岡綾子学芸員が、「岡崎嘉平太の生涯と前川國男の接点」

と題し、講演をしました。続いて橋本氏が、「岡山の前川建築と上海華興商業銀行社宅」と題して、前川建築の特徴とその価値を話されました。

前川國男はル・コルビュジエに師事した日本の近代建築の旗手で、彼が建築した公的施設は複数の県にあり、観光資源として注目が高まっています。本行事も定員を超える申し込みがあり、関心の高さが伺えました。講演の内容は、冊子にして頒布します。

中国淮安市淮安区の中学生訪問団来館

周恩来総理の故郷・淮安区と嘉平太氏の故郷・吉備中央町は、両氏の友情を縁に両自治体の中学生が相互に訪問し、交流をしています。

8月2日(火)、中学生8名と淮安区副区長ら計13名が、当記念館で、嘉平太氏の功績や周総理との親交を学びました。このたびの訪問を通じて、「日本が好きになった。また自分の力で日本に来たい」と話す学生もいました。



秋の特別企画展「岡崎嘉平太の学生時代と精義塾」の開催

9月22日(木)から12月26日(月)まで、企画展「岡崎嘉平太の学生時代と精義塾」を開催し、氏の青春時代の姿、交流を中心に紹介しました。



精義塾の先輩と懇親会 大正9(1920)年5月
前列右から3人目が嘉平太氏

友人と心が溶け合っていれば困ったときに一生助け合える

嘉平太氏は、明治44から大正5(1911から16)年、岡山県立岡山中学校(現在の岡山朝日高等学校)で勉学に励まれ、2年次は寄宿舎で、3年次からは国語教師宅で下宿生活を送られました。

旧制第一高等学校在学中は、寄宿舎で生活されていました。岡崎嘉平太伝の中で嘉平太氏は、一高校時代で良かったことを聞かれて、「人生の中でも幸せな2~3年を過ごしたと思っている。寝るのも勉強するのも旅行するのも何でも一緒にやったので、

心からの親友が出来たのがいいと思う」と述懐されています。高等学校の頃は人間をつくるときだと考え、学校外の勉強が多かったとも話されています。

【写真は、会場の様子】



精義塾は、明治26(1893)年に創設され、現在も東京都文京区にある岡山県に縁のある学生のための寮です。嘉平太氏は精義塾では、旧制第一高等学校受験のための大正5(1916)年4月から4か月余りと、東京帝国大学で学んだ大正8年(1919)年9月からの2年半を過ごされました。さらに卒業後も塾外員(OBのこと)として熱心に支援を続け、後輩らとの交流を深められました。

11月26日(土)には、守分 宣(公財)精義塾理事長ほか精義塾関係者らが集い、輪講を開催しました。守分氏は、「岡崎嘉平太先輩と私」と題し、講演をされ、その中で、「(精義塾の特徴について)たんなる学生寮や宿舎ではなく、在塾員と塾外員の総意で運営されており、さらには日常の運営は在塾員の討議により決定されている。こうしたことが在塾員の社会性や自主性を錬磨している」と話されました。

利用者20万人達成

12月12日(月)、平成13(2001)年8月の開館以来の利用者が20万人になりました。20万人目は、綱島節夫さん、吉備中央町吉川にお住まいの方

でした。綱島さんは、「企画展などの度に寄っていた。地元出身の偉人の功績に触れられる誇らしい場所。若い人にもぜひ知ってほしい」と述べられました。花束と記念品をお贈りしました。

夏休みの思い出づくり！絵手紙をかく会の開催



嘉平太氏は手紙をもらうと、どんなに忙しくても必ず返事を出していました。夏休みの思い出づくりに、思いを伝える楽しさを知ってもらおうと企画・参加者を募り、8月11日(木)に小、中学生を中心に11名が絵手紙をかきました。嘉平太氏のふる里・大和地区の絵手紙教室の方々に習いながらかき上げました。楽しさに夢中になる子もいました。

平成29(2017)年4月16日は嘉平太さん生誕120周年!

当記念館は、平成13(2001)年8月に嘉平太氏の故郷・吉備中央町に開館しました。来年は、氏の生誕120周年で、日中国交正常化45周年の節目です。

当館では嘉平太氏のご功績はもとより、氏の志並びに人格の道徳性、誠実さなどを、永く次代につなぐべく、これからも歩み続けたいと思います。

さらには、これまでの顕彰事業に加えて、より多くの方々により親しみをもち当館を利用していただくための企画「嘉平太塾」を始めることになりました。近々の内容は下の図を参照ください。

嘉平太塾第1回は、展示「岡崎嘉平太書『創造』のいまーミドリムシで空を飛ぶ!ー」です。

嘉平太氏の母校・吉備中央町立大和小学校にある書額『創造』。この書には、嘉平太氏の科学技術の進歩に取り組む若い人への期待が込められてい

ます。ANAは、「2020年迄にユーグレナ社が開発するミドリムシを活用した『国産バイオジェット・ディーゼル燃料』を飛行機の燃料に実用化することを目指す」と発表しています。この話題をご存じの方も多いと思います。ミドリムシの正体は、体長わずか約0.05mmの小さな微生物(藻の一種)で、ミドリムシが光合成によって成長する時に油脂分を作り出し、これがバイオ燃料の素になるそうで、(株)ユーグレナが、研究開発に取り組まれています。二酸化炭素を吸収し、光合成で育つミドリムシから製造した燃料は、燃やして二酸化炭素を出しても、結果的に空気中の二酸化炭素は増加せず、地球環境への負荷をやわらげるわけです。

他の企画も年齢を問わず楽しめるように工夫し、情報発信にも努めたいと思います。

わくわく知る・学ぶ! わいわい考える!

岡崎嘉平太記念館へおいでよ!

すべて無料

嘉平太塾

★千円以上の企画に4歳以上参加された方には、記念品を贈呈します★

第1回【展示】

岡崎嘉平太書「創造」のいまーミドリムシで、空を飛ぶ!ー

- 1月28日(土)～2月12日(日)
ただし、期間中の火曜日は休館
- 午前9時～午後4時30分
- 岡崎嘉平太記念館 企画展示室

第2回【サイエンスショー】

楽しい科学いろいろ

- 講師 内田正夫先生
人と科学の未来館 サイエンスインストラクター
- 2月1日(水) ■ 岡崎嘉平太記念館
- 午前10時45分～11時30分

申し込み必要

第3～7回【学ぶ】

人の身になって考えよう、やさしい日本語を学ぶ会

ー「やさしい日本語」とは、普通の日本語よりも簡単で、外国人にもわかりやすい日本語のことですー

- ①2月7日(火)②3月7日(火)③4月4日(火)④5月2日(火)⑤6月6日(火)
の全5回にできるだけご参加ください。まずは①回目からお気軽に始めてみてください!
- 午後2～4時 ■ 岡崎嘉平太記念館 シェア室

申し込み必要

■あわせて使用済み切手の整理もします
(はさみを持参してください)

■吉備中央町国際化推進協会と共催
ー使用済み切手は、JCOCSを通じてアジアやアフリカの人々の豊穡を守るための活動のために使っていますー

参加の会の名称に○ 楽しい科学いろいろ ・ やさしい日本語を学ぶ会

参加者お名前・電話番号

申し込みは、岡崎嘉平太記念館までお願いいただくか、電話0866-56-9033
またはFAX0866-56-9066でお知らせください! 1/23(月)締め切り。

うちに
来よう!

岡崎嘉平太記念館へおいでよ!

千円以上の企画に4歳以上参加された方には記念品を贈呈

嘉平太塾

第8回【特別展示】

2017年は酉年!
ータンチョウの郷・岡山県自然保護センター展ー

- 2月13日(月)～3月12日(日) ただし、期間中の火曜日は休館
- 午前9時～午後4時30分 ■ 岡崎嘉平太記念館 シェア室



第9回
嘉平太が愛した
ふる里の子ども作品展

岡崎嘉平太先生はふる里の子どもたちの
健やかな成長と幸福をいつも願っていました

吉備中央町内の小学6年生の作品を展示します
子ども達の心のこもった作品をご覧ください

- 2月13日(月)～3月12日(日) ただし、2月28日(火)は休館
- 午前9時～午後4時30分 ■ 岡崎嘉平太記念館 企画展示室

岡崎嘉平太記念館

〒716-1241
岡山県加賀郡吉備中央町吉川4860-6

電話 0866-56-9033
<http://www.okazaki-kaheita.jp>

開館時間 9:00～16:30
休館日 火曜日(祝日以外)
祝日の翌日(土日除く)



編集・発行：岡崎嘉平太記念館

〒716-1241 岡山県加賀郡吉備中央町吉川4860-6 きびプラザ内

TEL 0866-56-9033 FAX 0866-56-9066

ホームページ <http://www.okazaki-kaheita.jp>

Eメール okmh@okazaki-kaheita.jp

2017年1月発刊